

鹿児島大学定例記者発表

日時 令和8年2月6日（金） 15時00分～16時00分

場所 鹿児島大学事務局 特別会議室（4階）

発表内容

①鹿児島大学の将来構想 (鹿児島大学長 井戸 章雄)

- ・奄美サテライトキャンパス構想
- ・鹿児島大学Fan Club設置

②S A T R E P S (地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)

水稻の再生力を活用した多回収穫稻作技術体系の開発

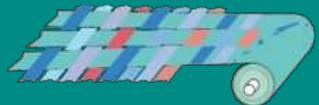
(農学部教授 坂上 潤一)

③傷がよく治る！革新的キトサンヒドロゲル

(理工学研究科教授 武井 孝行)

④スマート計量で実現する水産物流通デジタル情報プラットフォーム

(水産学部准教授 江幡 恵吾)

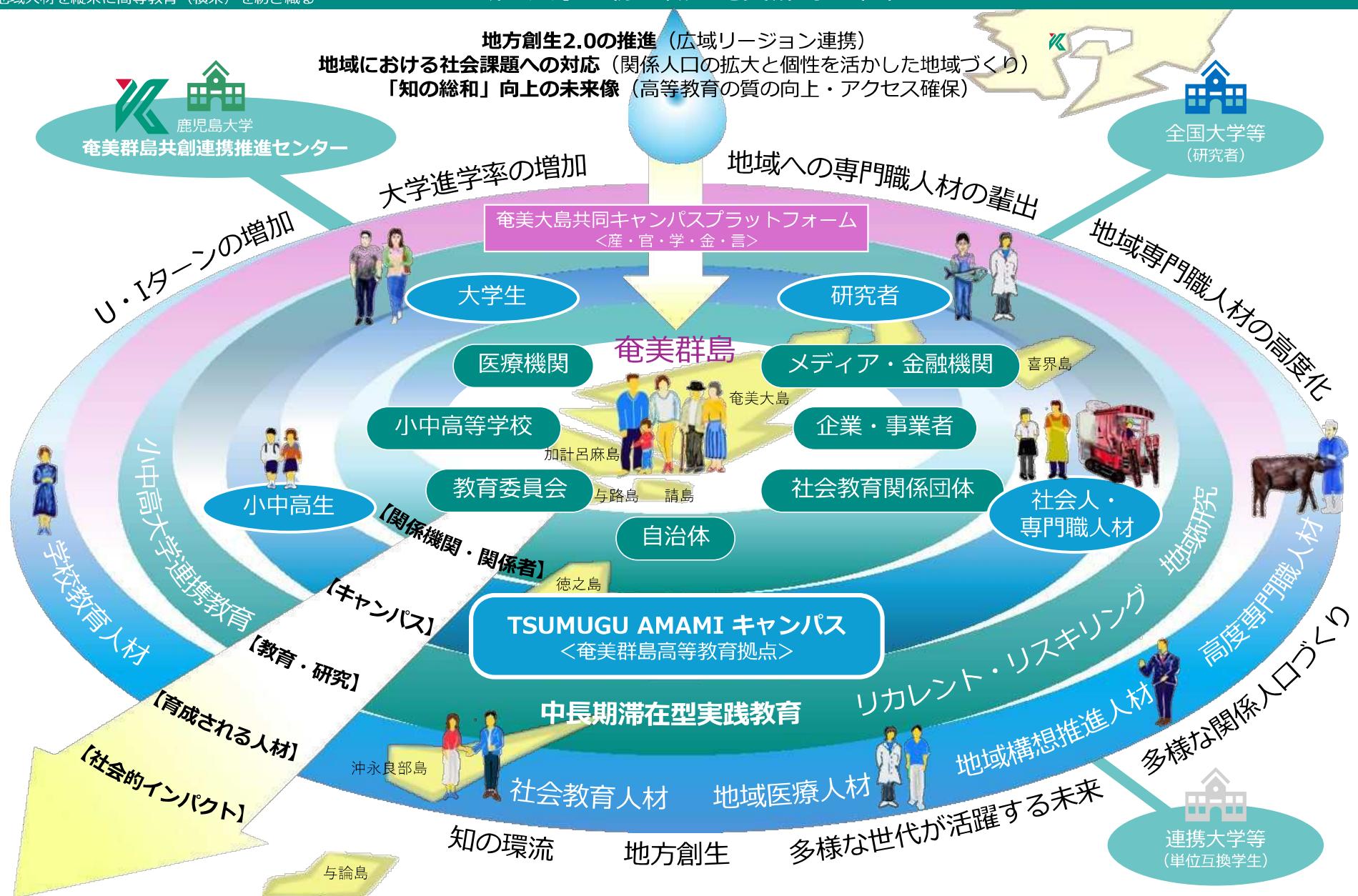


地域人材を縦糸に高等教育（横糸）を紡ぎ織る

「TSUMUGU AMAMI キャンパス」地方創生事業

つ む ぐ あ ま み

～地域と大学が紡ぎ織る奄美群島の未来～



鹿児島大学
公式ファンクラブの
ご案内

鹿大
ファン
クラブ
KADA1 FAN CLUB

Coming
soon!

鹿大とみんなでつくる未来は、 きっともっとおもしろい！

鹿児島大学は、2026年4月に

「鹿児島大学公式ファンクラブ」を設立いたします。

鹿児島大学に心を寄せてくださる皆さまと

つながり、集い、語り合える

鹿大と未来をつくるコミュニティを目指しています。

鹿児島大学が主催するさまざまなイベントなどを通じて

大学の魅力を発信し、地域の皆さまとの交流を促進します。

あなたもファンクラブに参加し、より豊かな未来を一緒に築いてみませんか？

集まれ!
鹿大サへん!

鹿大
ファン
クラブ
KADA1 FAN CLUB

かだいと、何する？

HPは4月に
公開予定です



お問い合わせ

鹿児島大学 FanClub 事務局（広報・涉外室）

E-MAIL :

kufc@kuas.kagoshima-u.ac.jp

鹿大ファンクラブへの
学長の想い

公式 Instagram



なぜ今、
ファンクラブ？

「鹿大さん」って
呼ばれたいたいんです！



@kadai_fanclub

インスタグラムにて運営
の様子を発信予定です。
ぜひフォローください！

令和 8 年 2 月 6 日

鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組

農学部教授 坂上 潤一

● S A T R E P S

(地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム)

水稻の再生力を活用した多回収穫稻作技術

体系の開発

E-mail: sakagami@agri.kagoshima-u.ac.jp

TEL&FAX: 099(285)8543

<https://www.agri.kagoshima-u.ac.jp/agri0004/>



DREAMRice

SATREPS

Science and Technology Research Partnership for Sustainable Development

地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム

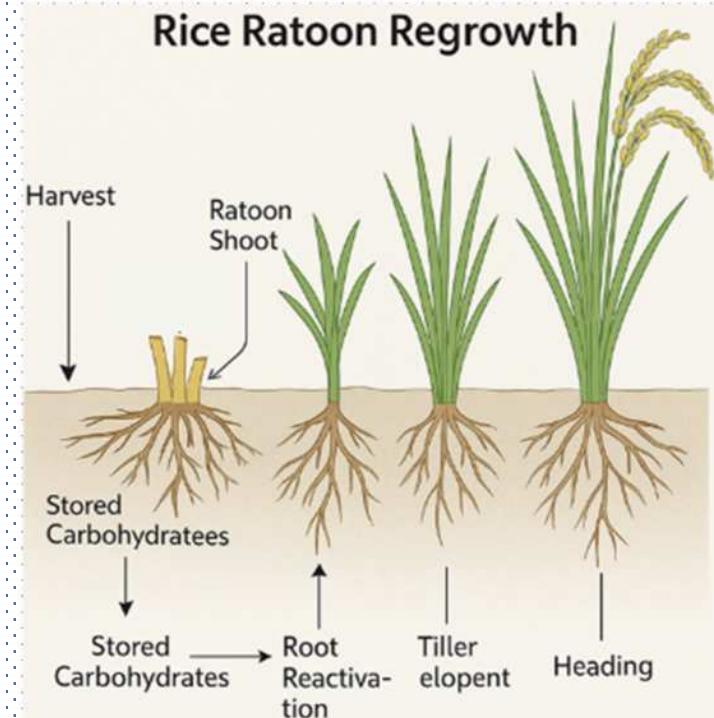


DREAM Rice Project

Project for the Development of
Ratooning-based Eco-Applicable
Multi-harvest Rice Production System

「水稻の再生力を活用した多回収穫
稻作技術体系の開発」

鹿児島大学農学部 坂上潤一



定例記者発表／地域中核・特色ある研究大学強化促進事業、2026年2月6日



SATREPS の目標

- ① 日本と開発途上国との国際科学技術協力の強化
- ② 地球規模課題解決のための新たな技術の開発・応用および科学技術水準の向上につながる新たな知見の獲得
- ③ キャパシティ・ディベロップメント
国際共同研究を通じた開発途上国の自立的研究開発能力の向上と課題解決に資する持続的活動体制の構築、また、地球の未来を担う日本と途上国の人材育成とネットワークの形成



科学技術の振興

研究・開発、イノベーションの推進

グローバルなニーズへの対応

地球規模課題の解決とそれに対する
科学技術コミュニティの貢献

日本の能力とパワー

- ・世界をリードする高い技術力とこれまでの研究実績
- ・ソフトパワー



国際協力

ODA・開発援助

ローカルなニーズへの対応

開発途上国においてローカルなニーズとして露見している
課題への対応 & キャパシティ・ディベロップメント

途上国的能力とポテンシャル

- ・地球規模課題の研究フィールドや対象物、関連データや経験・知見
- ・新たな市場・産業、グローバル・エコノミーへの貢献のチャンス





SATREPS

の研究分野

環境・エネルギー分野

地球規模の環境課題

生態系・生物多様性の劣化、都市への人口集中、生産・消費活動の増大、環境汚染の拡大、気候変動など、地球規模で直面している環境課題の解決を目指します。



写真左：海岸部に漂着したプラスチックゴミをドローン空撮によって検出している様子（タイ）
写真右：再生可能エネルギーの開発を訪問し、地下水の利用状況を調査している様子（ジブチ）

生物資源分野

気候変動は世界規模で様々な変化をもたらしており、生物資源の多様性および持続的な生産が脅かされています。食料、飼料、さらにエネルギー源など生物資源がもたらす恩恵を将来にわたって享受し続けるため、持続可能な生産・利用方策を提示します。



写真左：ドローンによる水田での生育調査（マダガスカル）
写真中：家畜感染症のマルチ診断システムの開発（タイ）
写真右：食糧安全保障を目指した養殖法の開発（グム育種、ワクチン等）（タイ）

カーボンニュートラル

温室効果ガスによる気候変動を緩和するカーボンニュートラルの実現を目指して、エネルギー消費の抑制、再生可能エネルギーの促進、スマートソサイエティなどの研究開発を行っています。



写真左：バイオディーゼル燃料で走るハロン島の観光船（ベトナム）
写真右：CCS(Carbon dioxide Capture and Storage)/バイオガス事業に向けた工事の様子（インドネシア）

防災分野

安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市・社会の実現を目指して、自然災害や都市化に伴う大規模災害の防災・減災に関する研究を、日本の経験・知見を生かしながら、全地球的な枠組みの中で総合的・組織的に展開します。



写真左：津波避難訓練に取り組む子供たち（メキシコ）
写真右：フィリピン海で発生した台風の目を航空機から観測（フィリピン）

SATREPS の公募・選考プロセス



【2025年分野別・地域別の採択件数】

研究領域	環境エネルギー分野	生物資源分野	防災分野
	カーボンニュートラルの実現に向けた資源・エネルギーの持続可能な利用に資する研究	生物資源の持続可能な生産と利用に資する研究	持続可能な社会を支える防災・減災に資する研究
応募件数	23	10	32
採択件数	3	2	3
採択率 (%)	13.0	20.0	9.4
地域	アジア	アフリカ	中南米
採択件数/応募件数	7/49	1/20	1/4
			その他
			1/7



共同研究プロジェクト体制

日本側グループ代表機関：鹿児島大学



Dr. Daisuke
Fujita/
Saga
University



Dr. Jun-Ichi Sakagami/
Kagoshima
University(KU)



Dr. Tsugiyuki Masunaga
/Shimane University(SU)



Dr. Sokichi Shiro/SU



Mr. Junichi Hanai/
Greein Co., Ltd.



Dr. Taiichiro Ookawa/
Tokyo University of
Agriculture and
Technology(TUAT)



Dr. Soh Sugihara/
TUAT



Dr. Hisashi Nasukawa/
Yamahgata University



東北大學
TOHOKU UNIVERSITY

Dr. Tsuyoshi
Sumita/
Tohoku University

ウガンダ側グループ代表機関：NARO



国立農業研究機構



国立資源作物研究所



Dr. Titus Alicai
Project manager



Rice Breeder:
Dr. Jimmy Lamo



Agronomist:
Dr. Simon Alibu



Soil Scientist:
Dr. Emmanuel Odama



Pathologist: Dr. Patrick Odongo



Agronomist :
Mr. Obura Morish

協力機関：
IRRI



Dr. Abdelbagi M. Ismail
Regional Director for Africa



研究の背景I：アフリカのコメ生産と課題

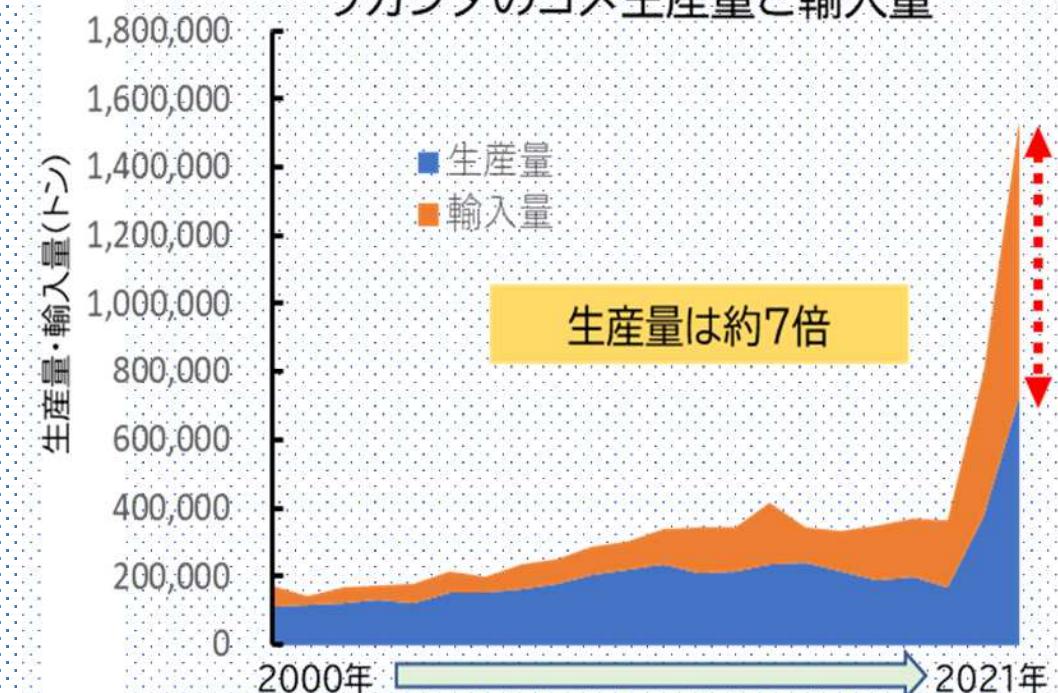
アフリカにおけるコメ生産量と自給率の推移



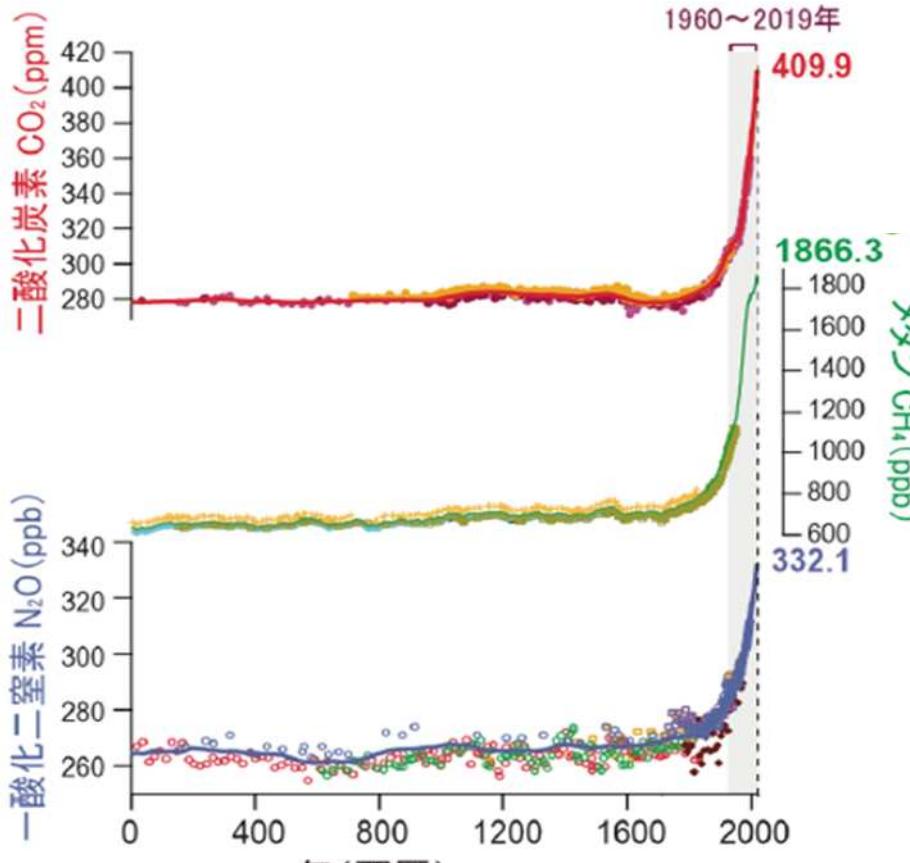
現状の技術では問題を解決できない

高収量による持続的コメ生産体系の技術的革新が必要

ウガンダのコメ生産量と輸入量

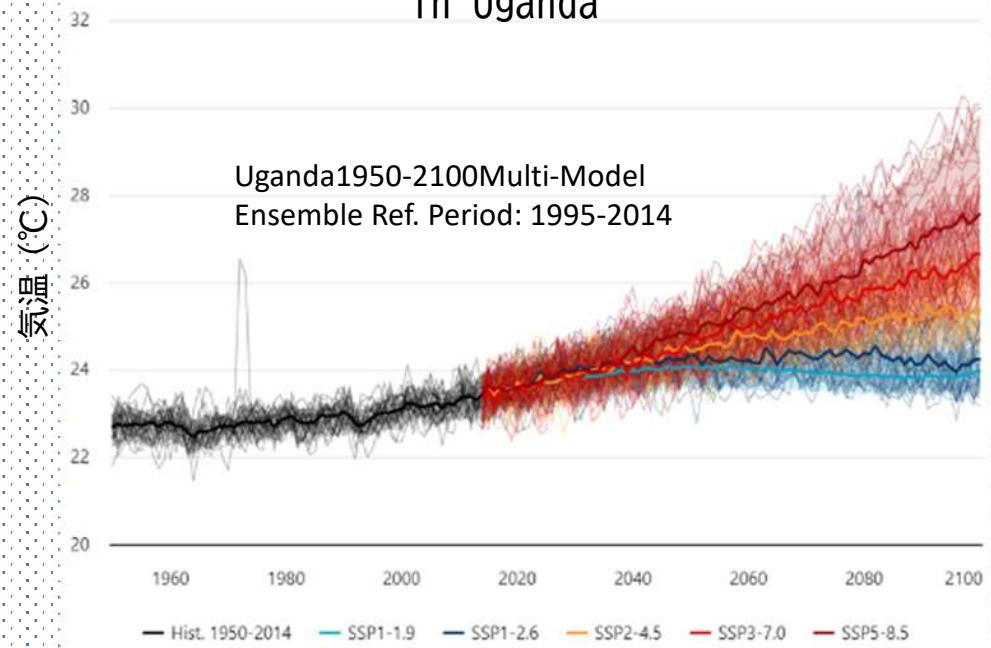


研究の背景II：気候変動の影響



出典: AR6 WG1図 TS.9(б)

Projected Timeseries Anomaly of Average Mean Surface Air Temperature in Uganda



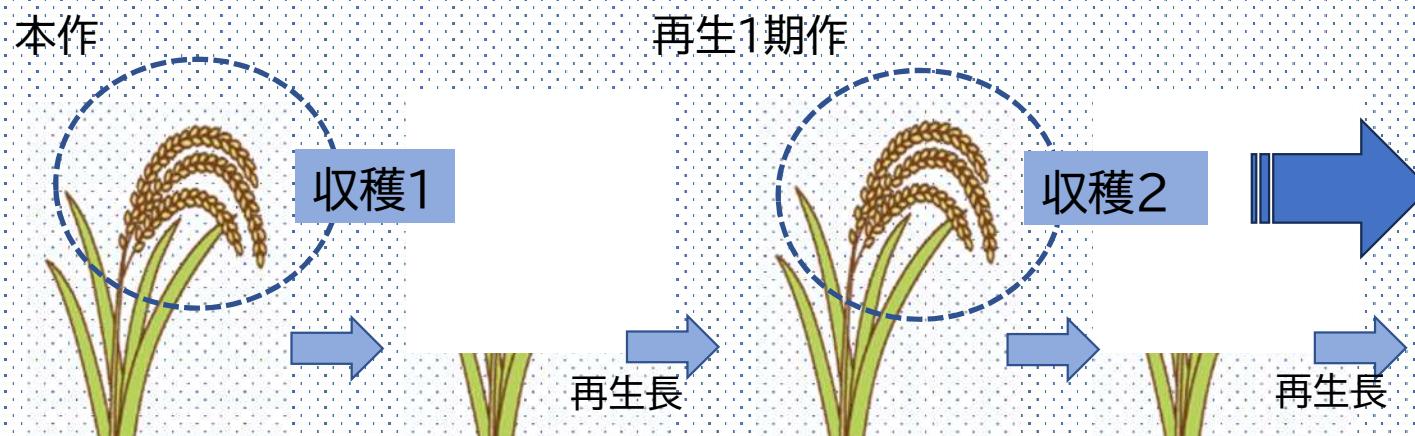
出展: Climate Change Knowledge Portal For Development Practitioners and Policy Makers

ウガンダも気候変動の影響を受けており、温暖化の軽減と適応が必要。



研究のコンセプト (G×E×M) とアウトプット

①作物の潜在的ポテンシャルを活用した生産管理技術



②気候変動による環境負荷を軽減する土壤/水管理技術

不耕起栽培による炭素貯留の増大、二酸化炭素排出の軽減
好気的水管理による酸化の促進、嫌気性メタンの生成と放出を阻害

アウトプット

新品種育成
3系統作出

収量
1.2~1.6倍

生産コスト
50%

土壤炭素濃度
0.4%分/年增加

メタン放出
30%抑制



研究プロジェクト概要（2026年～2031年）研究費（5.65億円/5年間）

プロジェクトPDM

上位目標

研究開発した再生イネ栽培技術体系が対象地域において推奨される

プロジェクト目標

水田の高収量栽培管理技術（成果1・2）および温室効果ガス削減効果の実証（成果3）により、持続的なイネ栽培システムを提示（成果4）する

普及実証（成果4）：

再生水稻栽培技術の経済性が評価され、
技術・普及マニュアルが策定される。



育種（成果1）：
高再生力・高収量
の能力を示す再生
水稻品種が育成さ
れる。



IIRRI × 連携

栽培技術（成果2）：
再生水稻栽培管理技術が
向上し、効率化される。



連携

**気候変動緩和
(成果3)：**
不耕起好気的栽培にお
ける**土壤炭素貯留**と**メ
タンガス排出削減**への
効果が明らかになる。



- 現地における研究費
 - 研究機器・機材費
 - 留学生滞在等経費
 - 専門家・業務調整員の派遣費
- 3億9千万円/5年間



- 現地における研究費
 - 研究機器・機材費
 - 留学生滞在等経費
 - 専門家・業務調整員の派遣費
- 3億9千万円/5年間



- 国内における研究費
 - 国内における出張費
 - ポストドク等雇用費
- 1億7.5千万円/5年間

AbiZARDI

Abi Zonal Agricultural
Research and Development
Institute

MAAIF

Ministry of Agriculture
Animal Industry and Fisheries

BugiZARDI

Buginyanya Zonal
Agricultural Research and
Development Institute

Eco-PRiDe

社会実装に向けて

- ①環境負荷を軽減した持続的高収量生産体系の確立
- ②温室効果ガス軽減による生物多様性の維持
- ③生産者の収入向上と農業継続性への貢献
- ④世界へスケーリングアップして平和構築へ貢献
- ⑤アフリカにおける緑の革命

ご清聴ありがとうございました。

令和 8 年 2 月 6 日

鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組

理工学研究科教授 武井 孝行

●傷がよく治る！革新的キトサンヒドロゲル

E-mail: takei@cen.kagoshima-u.ac.jp

TEL/FAX: 099-285-3283

研究室 HP: <https://takei-lab.com/>

2026/2/6 定例記者発表

傷がよく治る！ 革新的キトサンヒドロゲル

理工学研究科 武井 孝行



研究室HP

ミッション

在宅での褥瘡(床ずれ)ケアの負担を軽減する



褥瘡ケアの現状



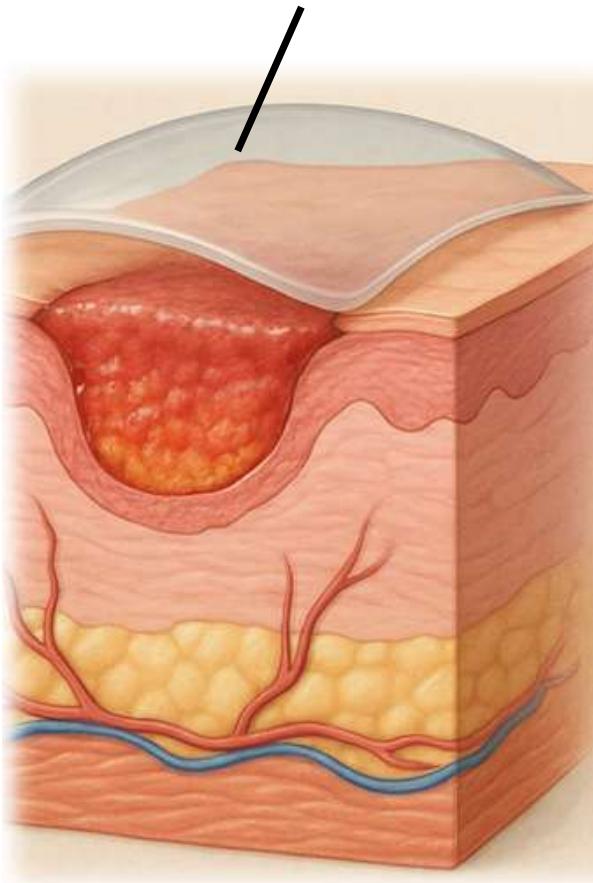
3万人

7万人以上

ご家族が主となって患者をケア

ご家族の身体的・精神的負担の低減が必要

創傷被覆材



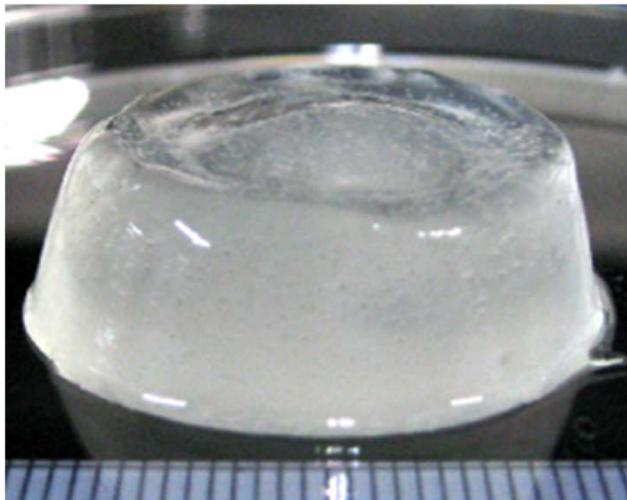
理想的な被覆材

- ・ 傷の治癒促進作用
- ・ 止血作用
- ・ 抗菌作用

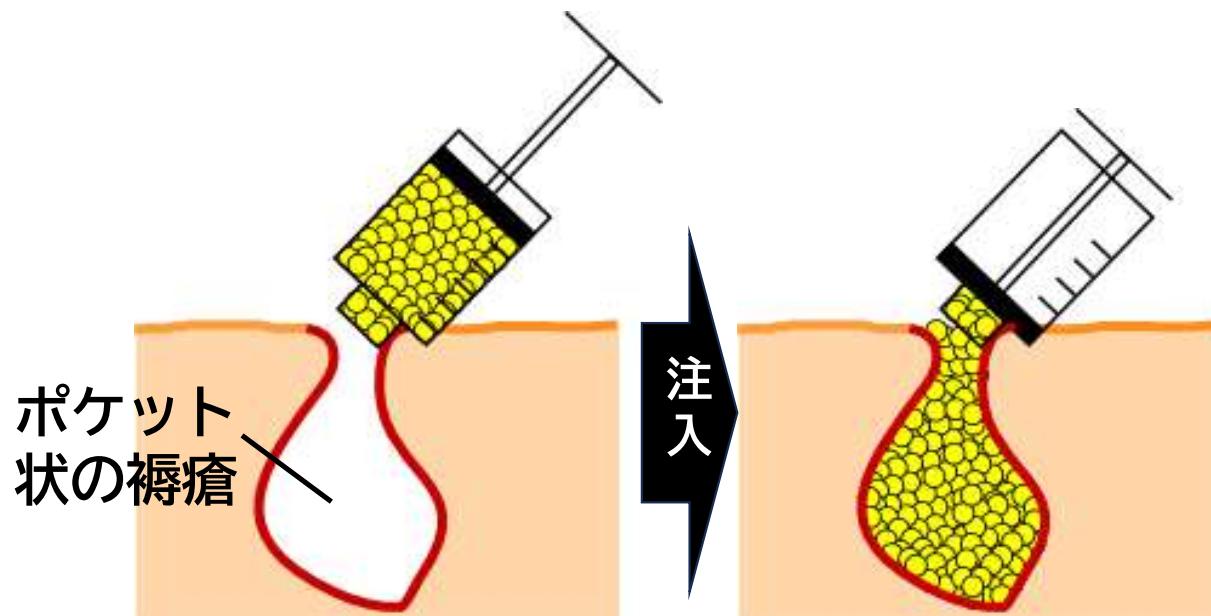


キトサンからなるヒドロゲル

開発履歴



安全性の高いキトサンゲルを開発



AMED 橋渡し研究 pre F 採択研究として研究遂行中

研究分担者

鹿児島大学医学部

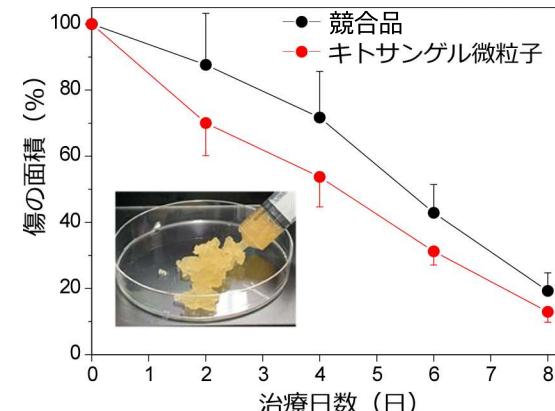
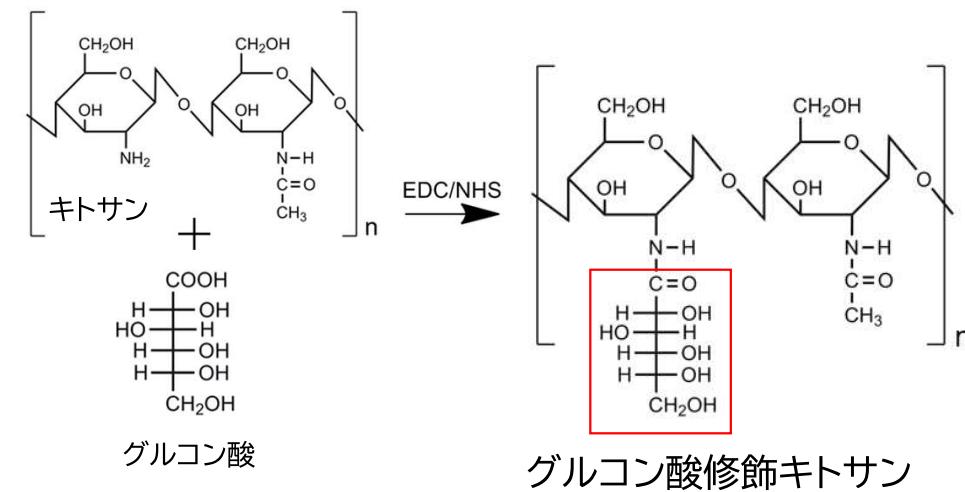
山下 勝 教授

大森日赤病院

松根 彰志 医師

日本医科大学医学部 細矢 慶 医師

治療効果

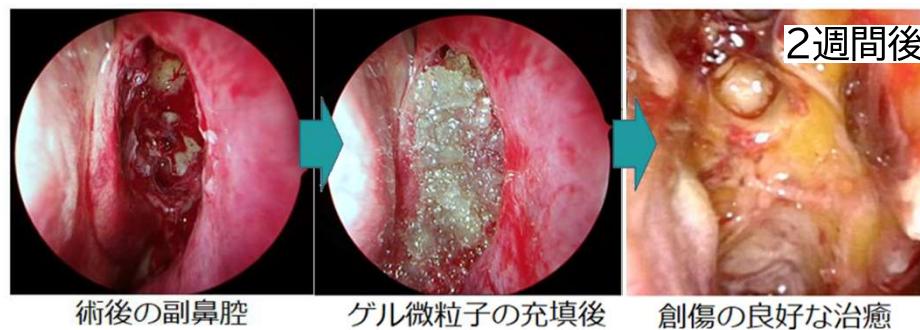


特許

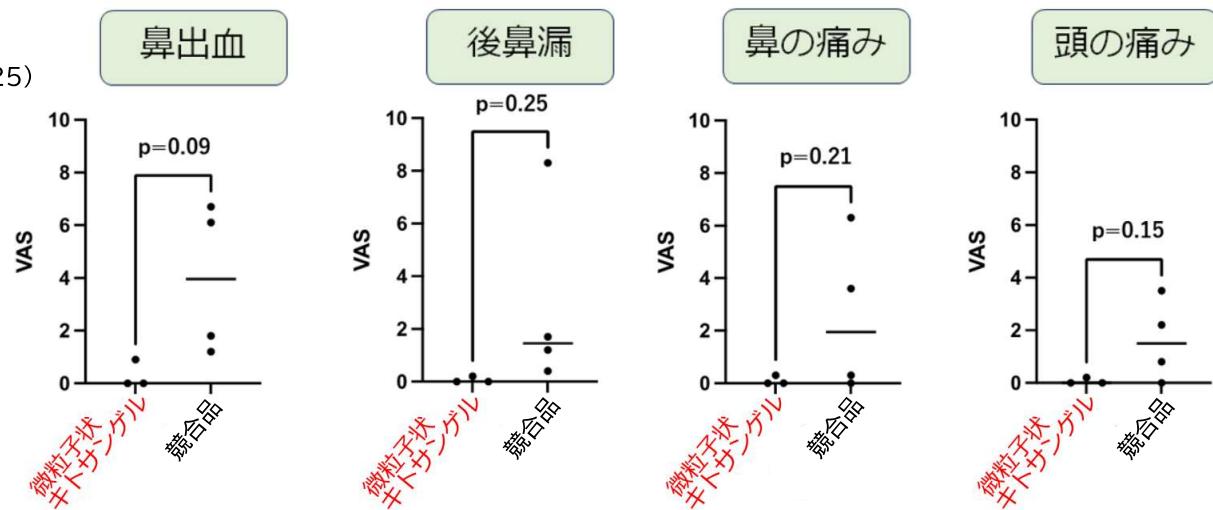
- 特許5907489号(2012年出願)
キトサン誘導体から得られるヒドロゲル
- PCT/JP2023/006946(2022年出願)
医療用ヒドロゲルの調製方法
- PCT/JP2024/028184(2023年出願)
体腔損傷治療用ヒドロゲル

臨床研究

※日本医科大学多摩永山病院にて
Yamashita, Y., Takei, T. et al., Gels, 11, 60 (2025)



有効性を実証



競合品との比較

		開発品				
1. 素材		キトサン				
2. 材型		ヒドロゲル微粒子				
3. クラス分類		クラスIII				
4. 製造元						
5. 販売価格						
6. 製品写真						
7. 機能	使いやすさ	◎	×	×	◎	
	治癒促進作用	◎	◎	◎	△	
	止血作用	◎	◎	◎	×	
	抗菌作用	◎	○	◎	△	

市場

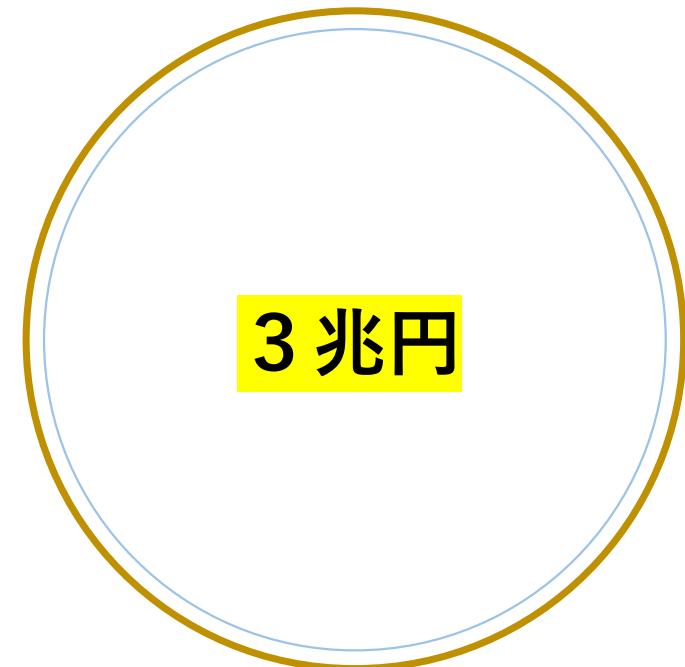
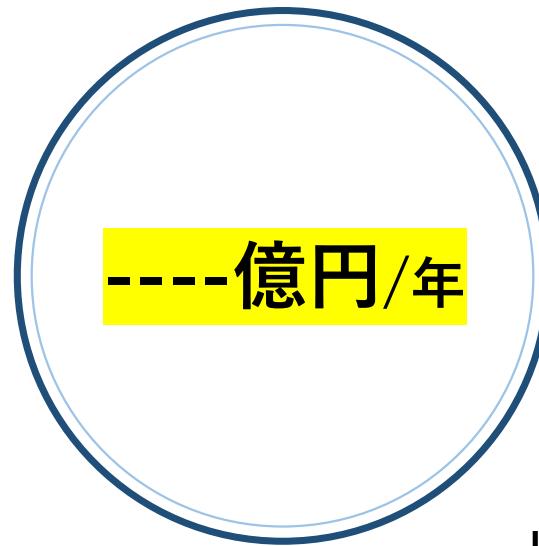
国内市場

世界市場

耳鼻領域

褥瘡

その他



合計 数千億円/年

達成したい未来社会

在宅での褥瘡ケアの負担を軽減する



令和 8 年 2 月 6 日

鹿児島大学定例記者発表資料

鹿児島大学の特色ある研究・取組

水産学部准教授 江幡 恵吾

●スマート計量で実現する水産物流通デジタル
情報プラットフォーム

E-mail: ebata@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL/FAX: 099-285-4231



スマート計量で実現する 水産物流通デジタル情報 プラットフォーム

鹿児島大学水産学部 准教授
江幡 恵吾





自己紹介（江幡恵吾）

- 1973年 富山県生まれ
- 1998年 北海道大学大学院 修了
- 1998年 水産物流通(札幌)
- 1999年 鹿児島大学水産学部 着任
専門分野:漁業生産学
- 2025年 株式会社ZIFISH 創業
(鹿児島大学発ベンチャー)





研究紹介（査読付き学術論文）

Fisheries Science
<https://doi.org/10.1007/s12560-025-02080-w>

2026年 漁業技術

ORIGINAL ARTICLE



Fisheries

Effectiveness of bottom guarding nets in reducing bycatch in prawn (*Penaeus* spp.) trammel net fishery along the coast of Ban Nam Khem, Phang-Nga, Thailand

Phatcharapol Boonserm^{1,2} · Keigo Ebata³ · Napakhwan Whanpitch² · Tanuspong Pokavanich² · Thanakorn Sangeamwong³ · Wachirah Jaingam²

Received: 29 July 2025 / Accepted: 24 November 2025
© The Author(s), under exclusive licence to Japanese Society of Fisheries Science 2026

2025年 気候変動と漁業管理

Fisheries Science
https://doi.org/10.1007/s10640-025-02025-1

ORIGINAL ARTICLE

Fisheries

Fishing practices and biological characteristics of blue swimming crab (*Portunus pelagicus*): a case study based on onboard observations and landed catch data in the Ao Por small-scale gillnet fishery, Phuket, Thailand

2023年 漁場造成

漂着軽石を用いた浮体構造物の海藻類付着特性

2025年 気候変動と水産資源

2024年 漁場造成

漂着軽石を用いた浮体構造物の設置深度 海藻類付着特性の関係

水産工学 Fisheries
Vol. 59 No. 3, pp. 17

2023年 魚市場 業務改善

[Research Article]

Effect of Diversity of Fish Landings on Sorting Time in Stick-held Dip Net Fishery

Yuya YOSHIDA¹, Keigo EBATA^{2,*} and Toshiaki SHINMACHI³

Abstract

This study aimed to clarify the effect of the amount and composition of the fish landings on the sorting time of a stick-held dip net fishery through field surveys conducted at the Akune fishing port. The names of the fishing boats, the start and end time of the sorting process, and the number of people involved in the sorting were recorded by visual observation. Landing slips issued by the Kitatsutsuwa Fisheries Cooperative located at the Akune fishing port were obtained to analyze the amount and composition of the fish landings. The slips showed the names of the fishing boats and the number of boxes for each species and size as well as those for aquaculture bait. The Simpson index (λ) was used to indicate the complexity of the composition in the fish landings. The regression formulas obtained in this study showed that the sorting time per catch weight was greater when λ was larger, suggesting that sorting process can be improved more effectively when λ decreases.



日本の水産物(約500種類)





世界の和食ブーム



Norway



Spain



Belgium



Vietnam



Thailand

「本物の日本産」に可能性 品目団体連携の重要性指摘

2024年2月14日 日本経済新聞

タイ国:本物志向 産地証明 トレーサビリティ



目指したい姿

おいしい魚で「笑顔あふれる幸せな国」



水産業の課題

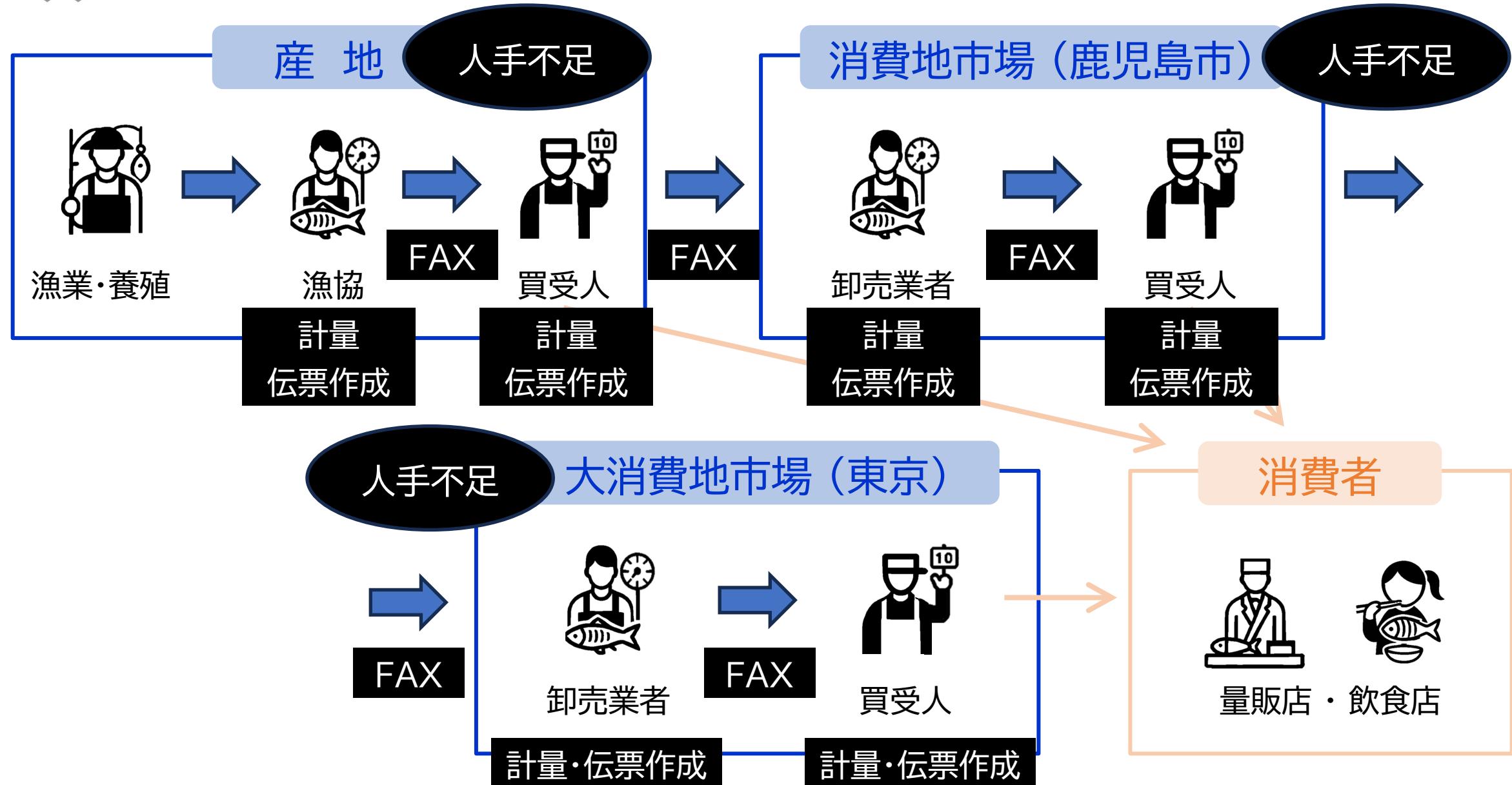
① 労働力不足

② 産地価格の低迷

③ 資源管理

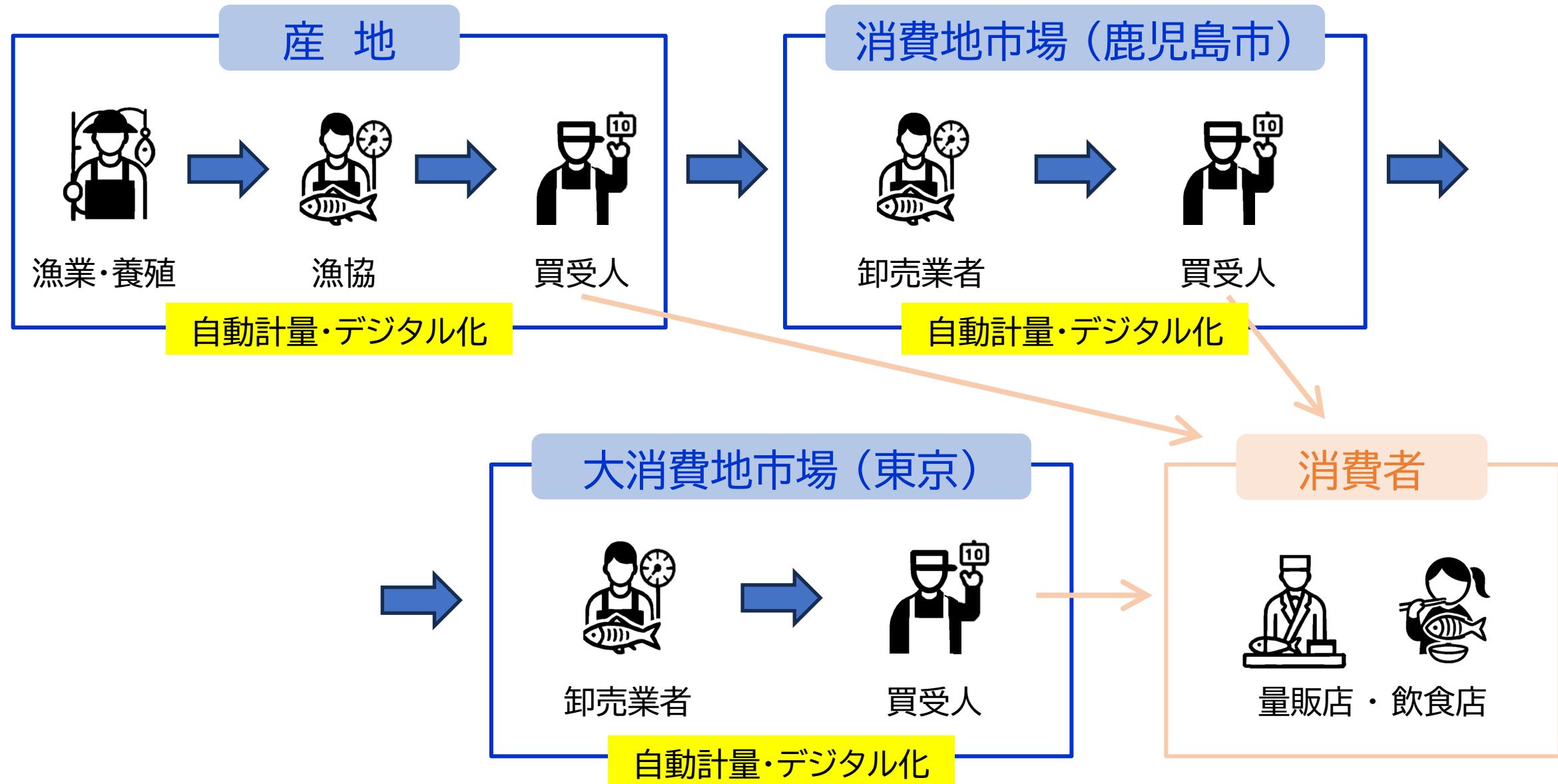


課題





解決策 水產物流通OS(情報基盤インフラ)



漁協の業務

12時間労働(土曜・祝日出勤) / 休みは日曜だけ / 長期休暇なし



5時



出勤

9時 10時



競り

13時



データ入力

17時



一般業務

退勤



スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）



ZIFISH

今日 ← 2/2(月) → 表示更新 次:273番

No.	生産者 すべて	漁法	画像	魚種 すべて	尾数	1尾重量g	重量kg
□ 85	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	11	827	9.1
□ 86	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	10	780	7.8
□ 87	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし コピー	4	1,000	4.0
□ 88	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	3,800	3.8
□ 89	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	3,000	3.0
□ 90	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	2,400	2.4
□ 91	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,800	1.8
□ 92	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい コピー	1	1,100	1.1

スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）

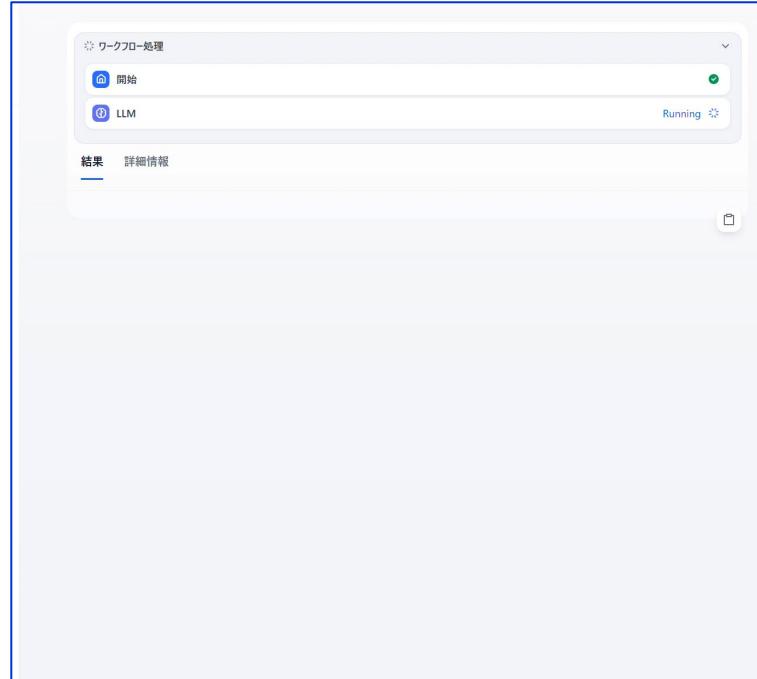
ZIFISH

今日 2/2(月)

No.	生産者	漁法	画像	魚種	操作
85	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし	コピー
86	東風泊漁場	大型定置網漁業		さごし	コピー
87	東風泊漁場	大型定置網漁業	(Red box)	さごし	コピー
88	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい	コピー
89	東風泊漁場	大型定置網漁業	(Red box)	たい	1 3,000 3.0 コピー
90	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい	1 2,400 2.4 コピー
91	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい	1 1,800 1.8 コピー
92	東風泊漁場	大型定置網漁業		たい	1 1,100 1.1 コピー



スマート計量システム（鹿児島県・高山漁協で実用化）



入札結果の音声をデジタルデータに変換

販売管理サブシステム - 水揚入力

水揚入力

処理日 2025/10/25 水揚日 2025/10/25 伝票番号 77377
販売形態 1 外部出荷先 生産者 501 漁業種類 71

行番	号数	魚種	鮮活	規格	形態	箱数	箱種	尾数	数量	単位	単価	金額	仲買人	備考	
99	103	さば	鮮魚	6	1	0	0	1.0	3	0.0	15.6	1	21	328	50
100	104	さば	鮮魚	6	1	0	0	1.0	3	0.0	15.0	1	21	315	50
101	105	このしろ	鮮魚	136	1	0	0	1.0	3	0.0	3.4	1	145	493	1
102	106	くるまえび	鮮魚	146	1	0	0	1.0	3	3.0	0.2	1	2,882	576	(有)江川商店(江川伸一)
103	107	くるまえび	鮮魚	146	1	0	0	0.0	3	3.0	0.2	1	3,880	776	21
104	108	くるまえび	鮮魚	146	1	0	0	1.0	3	0.0	1.1	1	3,712	4,083	21
105	109	くるまえび	鮮魚	146	1	0	0	1.0	3	0.0	5.6	1	2,882	16,139	坪山栄作
106	110	くるまえび	鮮魚	146	1	0	0	1.0	3	0.0	0.2	1	2,560	512	2
107	111	くるまえび	鮮魚	1	1	0	0	0.0	0	0.0	0.0	1	0	0	坪山 勇作

合計 尾数計 箱数計 数量計 金額計 消費税 税込金額 外部控除 差引金額

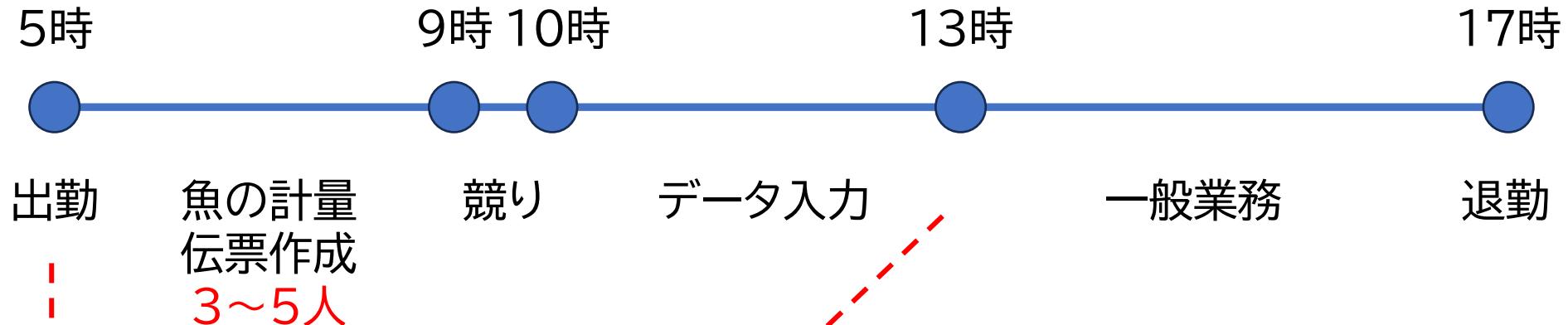
492.0 97.0 1,174.00 459,056 36,724 495,780 0 495,780

行削除 伝票削除 画面クリア チェックリスト 伝票登録 終了

既存の会計システムに自動入力



漁協の業務改善



省力化効果
3,180 時間・人/年
4.7 百万円/年



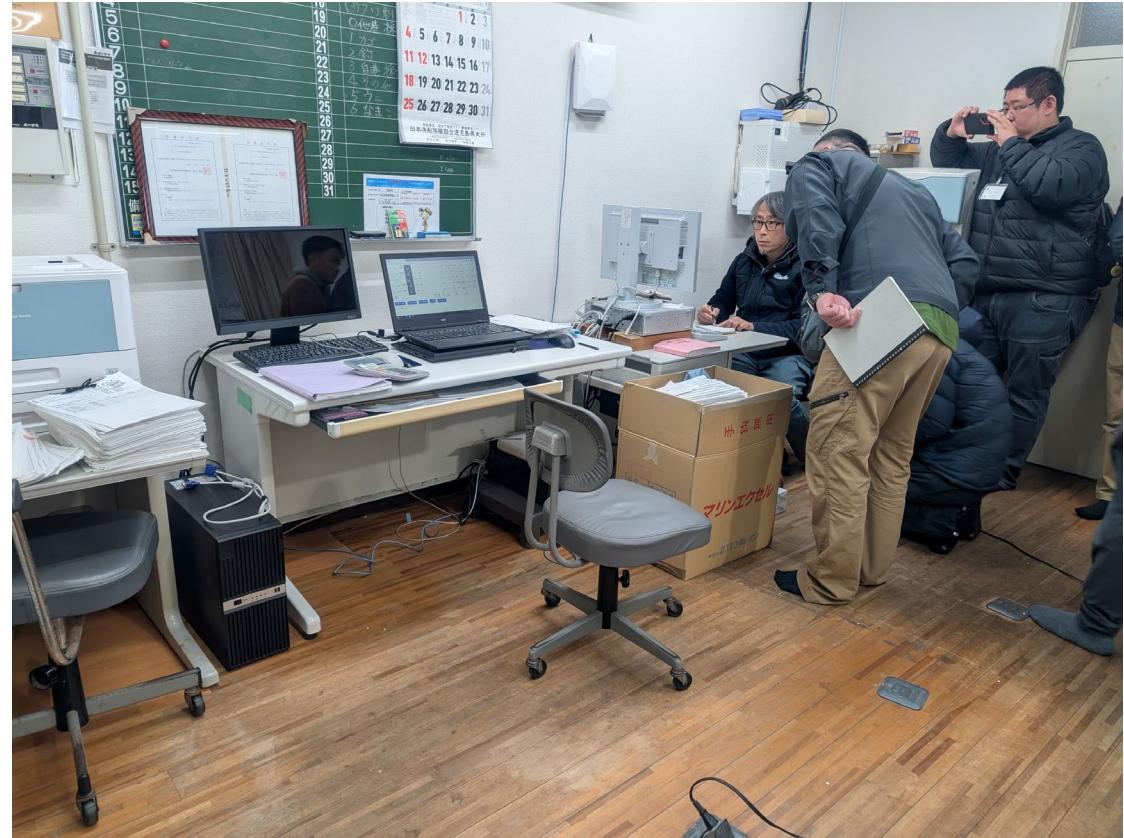
高山漁協の声

11月3日(祝)
3人→2人

職員1人
休みを取ることが
できた！



漁協の業務改善



2024年 鹿児島市 markMEIZAN Spread pt.3 優秀賞

2025年 鹿児島ICTel大賞 DX部門優秀賞

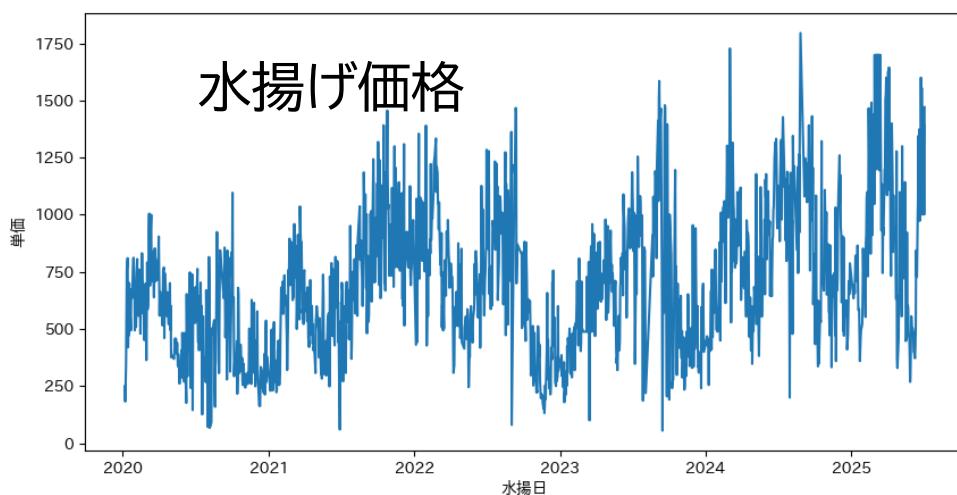
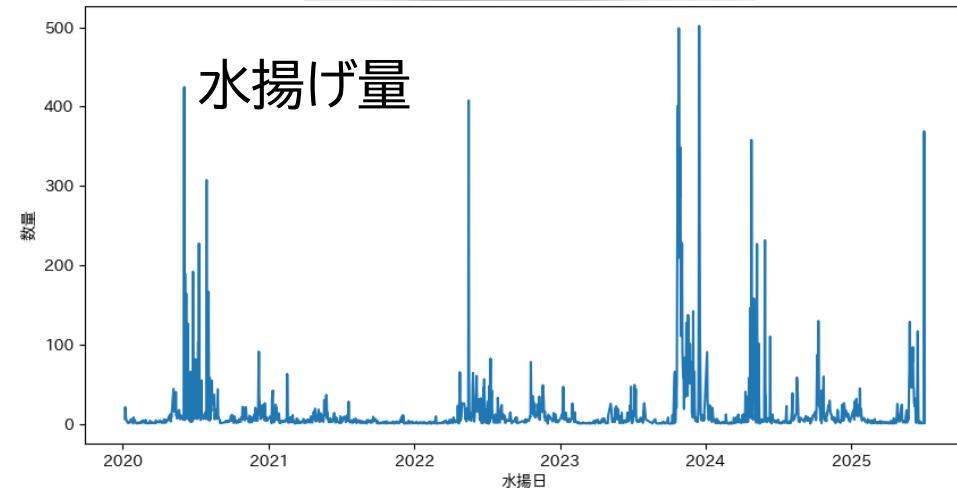
鹿児島県ビジネスプランコンテスト なんぎんキャピタル賞

うるるビジネスコンテスト「優秀賞」、「オーディエンス賞」

九州大学発ベンチャービジネスプランコンテスト 「九州経済産業局長賞」、「台日商務交流協進会 理事長賞」



水産物情報プラットフォーム





产地の生産性向上



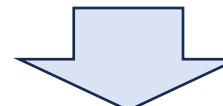
漁業者

- ・競り結果を早く知りたい
- ・過去の漁獲記録を見たい



仲買人

- ・複数の魚市場から魚を仕入
- ・顧客と早く交渉したい



水揚げから競りまで約2時間

量販店

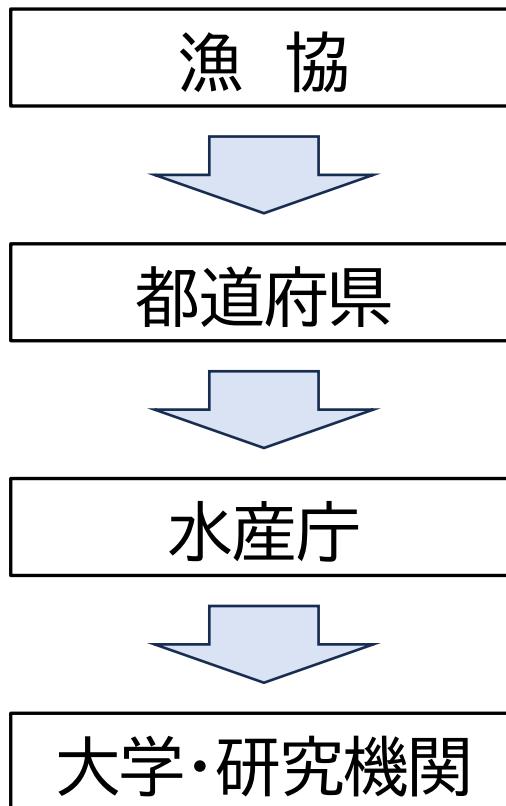
東京・豊洲市場

大阪市場

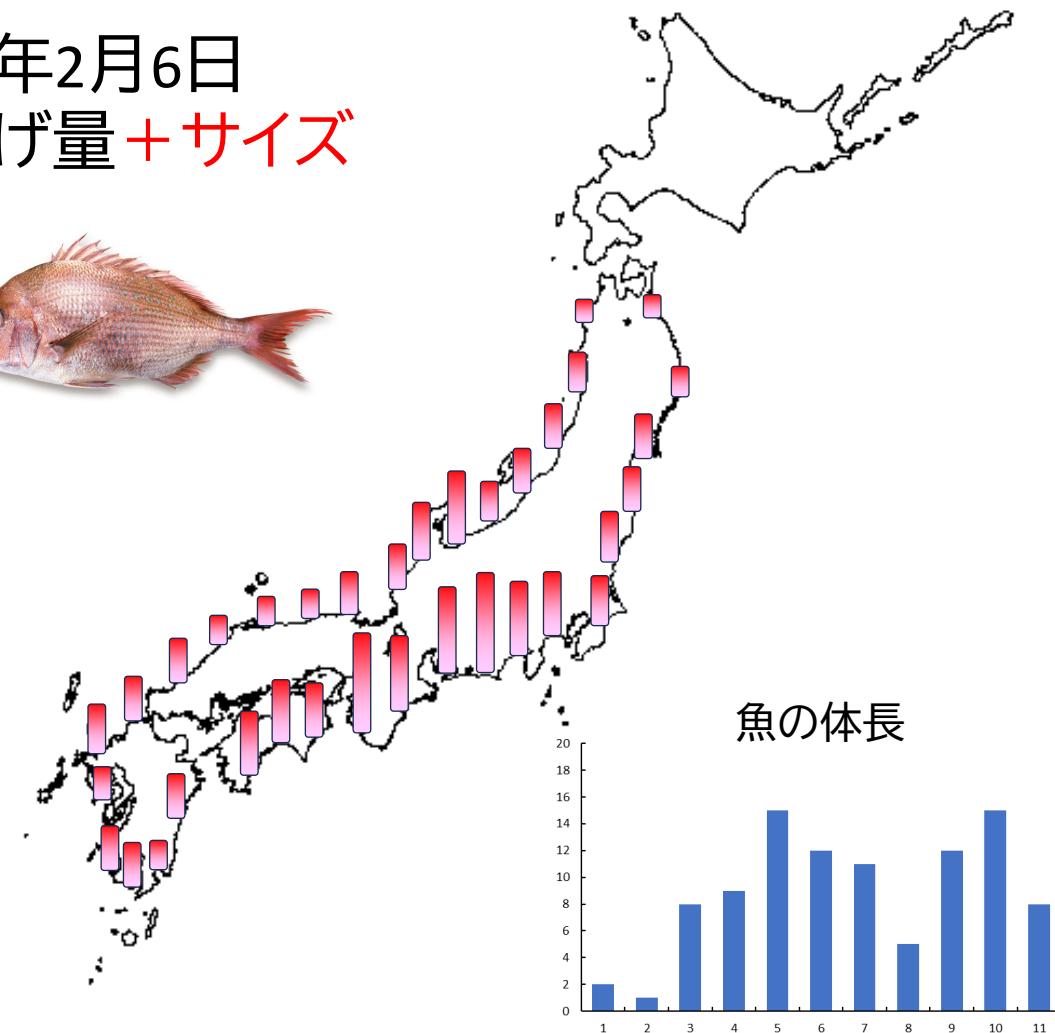
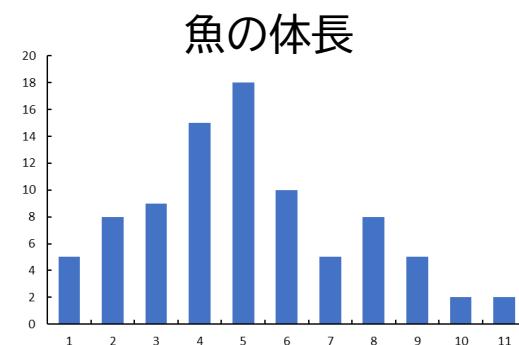


気候変動に対応したリアルタイム資源管理

水揚げ量報告 (kg)



2026年2月6日
水揚げ量+サイズ

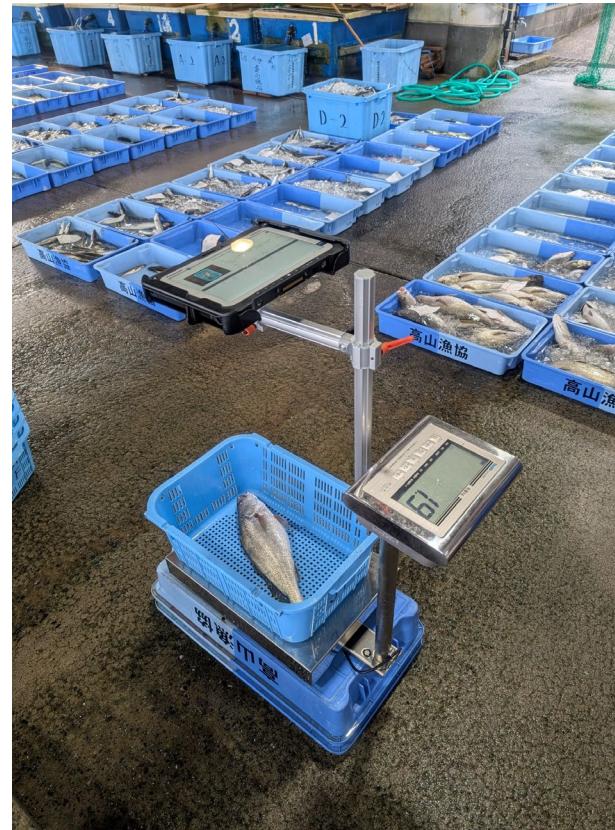




新規性・優位性



手入力あり
情報共有できない



手入力なし、既存会計システムにデータ転送
情報共有できる
(漁業者、漁協、仲買人、飲食店、消費者)





グローバル展開



国境を越えた水産資源管理プロジェクト

(2025年 NIKKEIブルーオーシャン大賞 生物多様性部門 受賞)



タイ政府
水産局

東南アジア
漁業開発センター

カセサート大学
水産学部





導入実績・今後の予定



高山漁協
東串良漁協
奄美漁協
瀬戸内漁協
江口漁協
種子島漁協
与論町漁協
とくのしま漁協
内之浦漁協



鹿児島県 高山漁協(2025年11月～導入済み)



三重県 外湾漁協(2026年1月～試験導入)

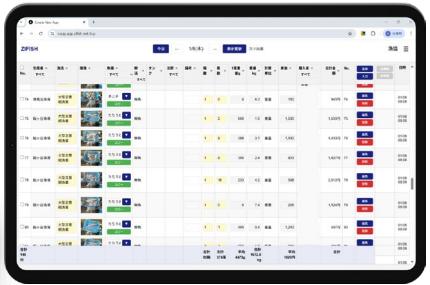


静岡県 南駿河湾漁協(2026年3月～試験導入)





事業展開



漁協市場
DX

仲買仲卸
DX

漁師
DX

水產
加工
DX

養殖
DX

在庫
管理
DX

資源
管理
DX

輸出入
DX

飲食店
小売
DX

水產
物流
DX

資材
購買
DX

ZIFISH
水產OS

受賞予定 2026年3月8日

NIKKEI THE PITCH GROWTH 2025-2026 アワード
優秀賞、レオス賞、ストライク賞、オーディエンス賞



2026年初競り(1月6日 みなと新聞)

(7) 2026年(令和8年)1月6日 火曜日 み な ど 楽 手 **朝刊(日刊)**

大阪、名古屋でマグロ最高値更新

タラ中心に35トン上場

石巻市場

仙台市場

再整備へ業界一丸で

仙台市場は5日早朝から郡和子仙台市長や市場関係者が参加して業務開始式を行った。郡氏は「昨年11月には当市場の再整備計画を公表した。東北の拠点市場として生鮮食品の安定供給はもちろん、市民に愛され、関係者が働きやすい魅力ある市場となるよう関係者と連携して再整備を進めていきたい」とあいさつ。

仙台市場は5日前から郡和子仙台市長や市場関係者が参加して業務開始式を行った。郡氏は「昨年11月には当市場の再整備計画を公表した。東北の拠点市場として生鮮食品の安定供給はもちろん、市民に愛され、関係者が働きやすい魅力ある市場となるよう関係者と連携して再整備を進めていきたい」とあいさつ。

マグロ前年並み77本入荷

横浜

メバチは前年の初市に比べ「若干減」の31本、冷凍マグロ(同)は「前年並み」の46本の入荷となった。

活カワハギに1万5000円

広島市場

1万5000円の高値が付き、市場が盛り上がった。

初セリ前には大発会が開かれ、南部克徳市場長があいさつ。水産物部協議会の山本英治郎会長(広島水産社長)は、「今年は60年に1度のパワフルな年で飛躍の意味がある」とし、市場施設の建て替えが60年後も満足できる設計で進むことを願った。(田中龍二)

戸井産マグロに初荷最高値

札幌市場

小売が連携し、いっそうの安定供給に努めていこう」と呼び掛け、三本締めを行った。初荷は前年比6%減の約71トン。鮮魚は日本海産を中心にカレイ類、マダラ、アンコウなど。戸井産クロマグロ(1本187キロ)にキロ1万7500円の同市場初荷の最高値が付いた。(秋由恵司)

サワラ高値3200円

福岡市場

福岡市場の初セリは5日に行われた。入荷量は前年の初セリ比31%減の166トン(速報値)だった。

主な魚種では、福岡産主体のサワラは3・2トンで高値キロ3200円。ヒラスは3・5トンで1200円だった。サバは880箱(1箱4キロ)で箱4860円。アジは100箱(同2キロ)で5400円を付けた。年末は

クエ(アラ)、天然ブリとともに九州産の入荷が低調だった。

午前2時50分からの初市式で入江康浩福岡中央魚市場社長は「市民に開かれた市場づくりと水産物の安定集荷・適正取引に努めていく」と述べた。(金坂伶)

福岡市場の初セリ

天然活トラフグに2万3000円

南風泊市場

しけ出漁日が減る中、買い気配が強く高値水準となつた。養殖物は15キロ(同7トン)が上場し、相対相場の水準の3000円前後で売買されたもよう。あいさつで、下関唐戸魚市場の阿部日佐夫社長が、产地分散化など環境変化による課題がある中、業界一体で乗り越える決意を述べた。(田中龍二)

専門市場ならでは、フグの袋セリ



2026年初競り



鹿児島大学発の新技術で
日本・東南アジア全域の
水産業DXを実現します

デジタル化推進の元年

鹿児島市場の初セリは5日午前6時15分、下鶴隆央鹿児島市長の振鈴でスタート。ゴールドチェーンを確立した高度衛生管理型市場で行われた初セリにサバやアジ、イカなどが並んだ。

初セリ式は市長あいさつの後、山口博久鹿児島水産物卸売業者協会長が「初セリの入荷量が多いことを喜びたい。

鹿児島市場

今年は『力強く駆け抜ける馬』のごとく、魚食普及を進める」と述べた。山口憲一郎鹿児島市水産物卸売協同組合理事長は「今年は魚類市場のデジタル化を推進する元年となる。たくさんの魚がさらに集まるよう尽力する」と力を込めた。

(近藤芳樹)



鹿児島市場の初セリ

100年先の食卓にも地魚を

